

# 社会課題解決に向けた新たなサービスの定着を支援する「社会受容性モデルベースシミュレーション」の開発

富士通株式会社(植木 美和、猪又 明大)、名古屋大学(森川 高行)

イノベーティブな社会課題解決型サービスの定着を促すため、住民の利用意向に影響する心理的要因と選択行動を再現できる「社会受容性モデルベースシミュレーション」を開発した。富士通のエージェントシミュレーション技術と名古屋大学の社会心理学的選択行動モデルの知見を統合し、サービス受容性を事前に評価する仕組みを構築した。今回、交通空白の課題に対し、自治体の予約型乗り合いタクシーで検証を行い、広報時期や対象を改善することで利用意向が従来比約20%向上し得ることを確認した。この技術を今後、他のサービス設計や施策立案にも展開し、交通空白地域の解消など生活の質の向上に寄与することを目指す。

## 総合知により目指すビジョン / 解決する社会課題

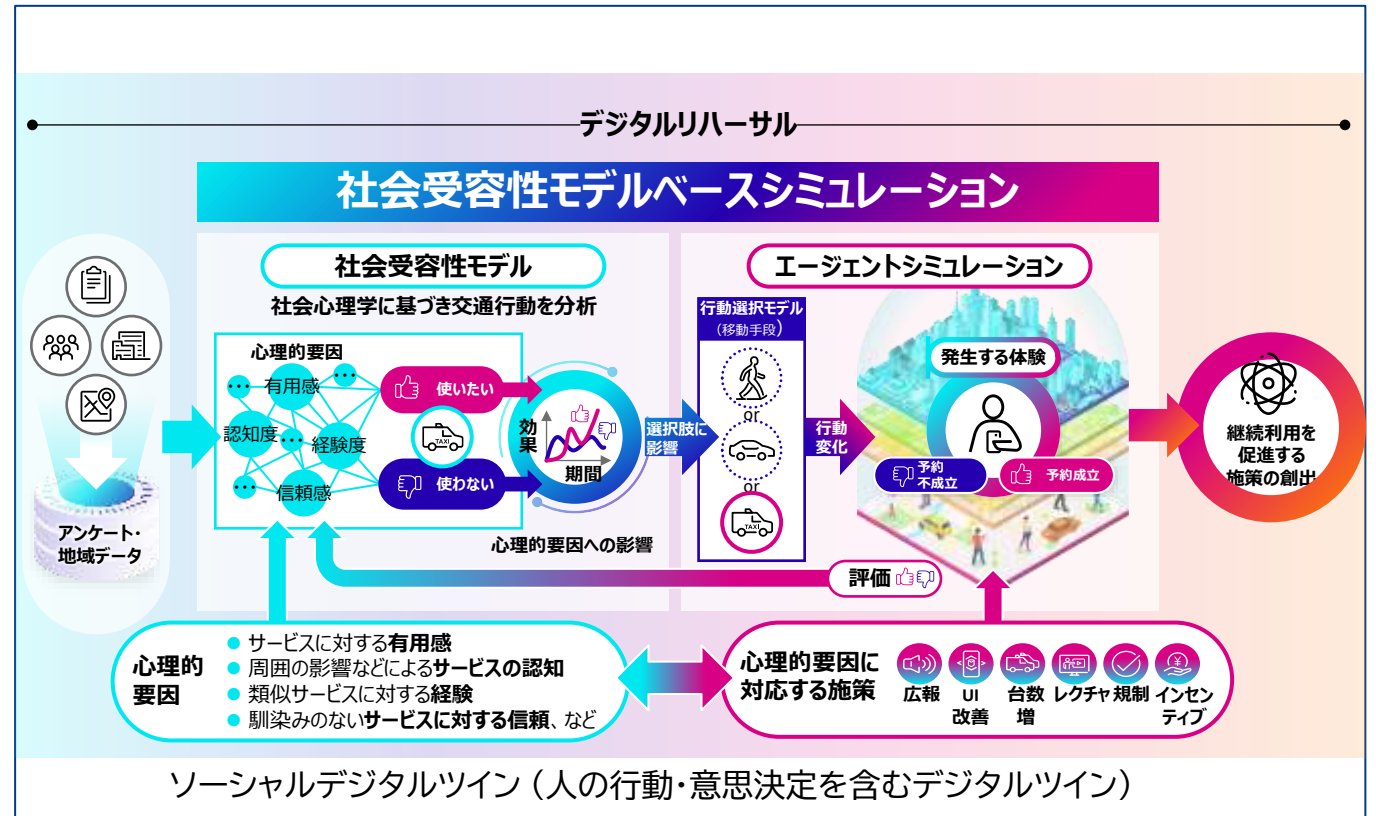
人文社会科学とデジタル技術を融合したコンバージングテクノロジーにより、人の心理への深い理解に基づく施策立案を可能とし、合理性のみでは解決できない社会課題の克服する。住民・地域に寄り添い、安心と利便性が両立した持続可能な社会を目指す。

## ビジョン達成の課題

社会実験は時間と費用がかかり、サービス設計段階で利用率の変化を見通す手法が不足していた。また住民の心理や行動要因が複雑で、どの要因が受容性に影響するか整理されておらず、政策立案やサービス改善に活用しにくいことが課題であった。

## 「矩」を超えた場づくり / 得られた新たな価値

名古屋大学の行動科学・心理学と富士通のエージェントシミュレーション技術を結集した共同研究ラボにて、自治体の協力のもと、住民調査からモデル化、シミュレーション、評価を一体で行う枠組みを構築した。その結果、利用意向を約2割向上させうる設計知を得て、他サービスや政策検討に転用可能な評価基盤を獲得した。



# 「SAMSIM」 社会受容性モデルベースシミュレーション

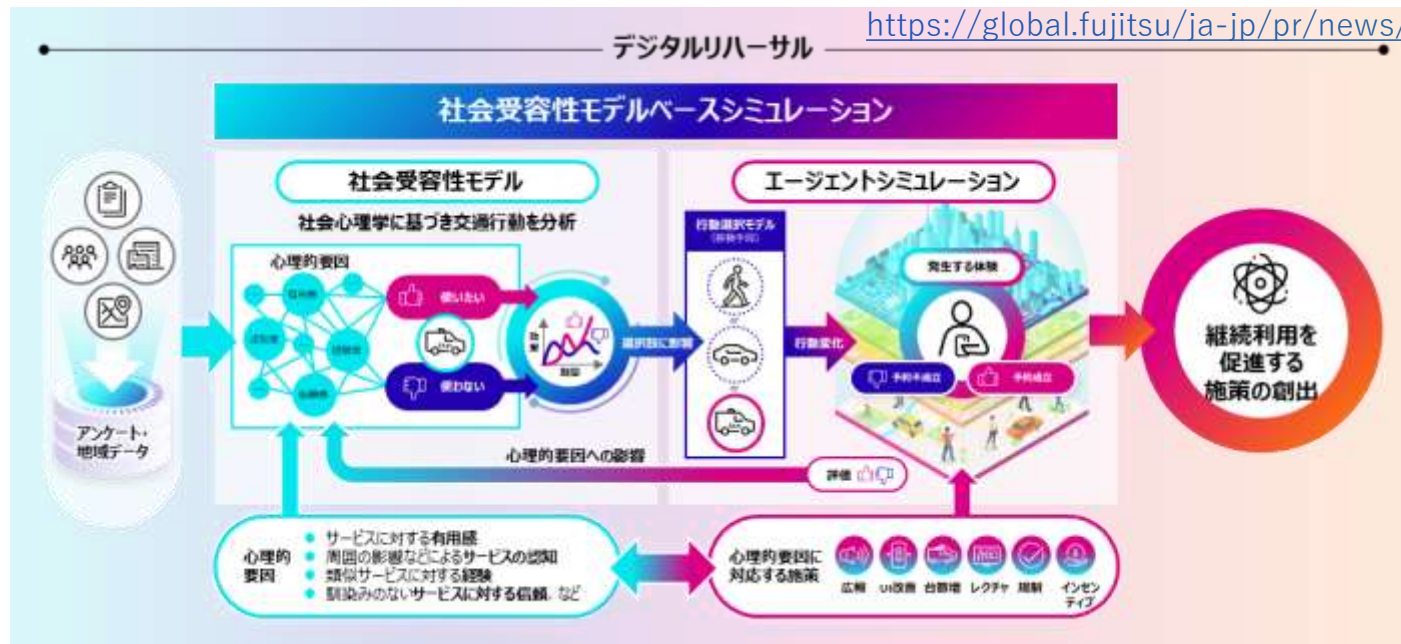
## ビジョン と社会像

「社会科学×デジタル技術」で人の心理に寄り添う施策を創出  
交通空白を始めとした社会課題に対し、地域の受容性を高め、  
持続可能で安心・便利な社会を目指す

交通空白解消に向けた新たなサービスの定着を、心理的要因のシミュレーションで支援する技術を開発  
予約型乗り合いタクシーサービスの検証で、利用意向を約20%向上させうる施策を立案

2025年7月24日プレスリリース

<https://global.fujitsu/ja-jp/pr/news/2025/07/24-01>

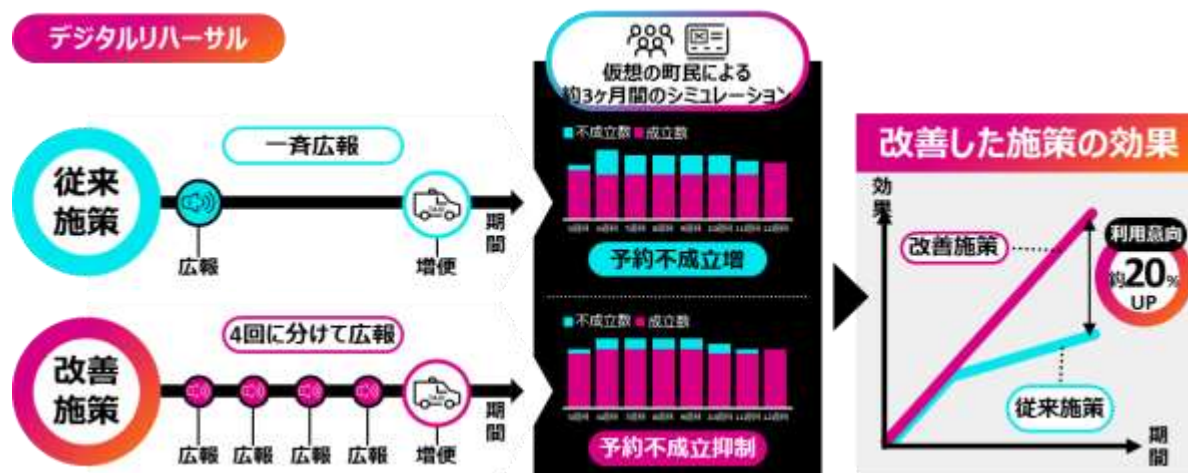


- 社会受容性モデル：交通サービス選択への心理的要因の影響をアンケートにより推定
- 社会受容性モデルに基づくシミュレーション：どの要因に効く施策をどのように実施すると利用意向が高まり、サービスが定着するかをデジタル空間上で事前検証可能に

# 「SAMSIM」 社会受容性モデルベースシミュレーション

## 知の連携

- 富士通一名古屋大学ソーシャルデジタルツイン研究部門を開設、デジタル技術と社会科学の専門家の知見を融合
- 自治体の協力のもと、大規模住民アンケート調査を実施し技術開発、また開発技術の価値検証やブラッシュアップを実施



- アンケートへの回答から社会受容性モデルベースシミュレーションを構築
- 過去の実証実験のデータを用いて、対象自治体におけるデマンド交通での移動を約90%再現できることを確認
- 本シミュレーションを用いたデジタルリハーサルで、改善前と比較して予約不成立を抑制し、利用意向を20%向上させうる施策の創出に成功

「SAMSIM」は、アンケート結果にもとづいて社会受容性モデルを構築、  
実データをもとにデジタルリハーサルを実現

施策の利用意向の向上を通じて、社会課題解決に貢献する